

## 西野 節男 教授 略歴

生年月日 昭和27年5月17日

## [学 歴]

昭和34年4月 尼崎市立水堂小学校入学  
 昭和37年4月 神戸市立本山第一小学校転入学  
 昭和40年3月 神戸市立本山第一小学校卒業  
 昭和40年4月 私立灘中学校入学  
 昭和46年3月 私立灘高等学校卒業  
 昭和46年4月 東京大学理科一類入学  
 昭和49年4月 東京大学教育学部学校教育学科進学  
 昭和51年3月 東京大学教育学部学校教育学科卒業  
 昭和51年4月 東京大学大学院教育学研究科 修士課程入学  
 昭和54年3月 同 修士課程修了  
 昭和54年4月 同 博士課程進学  
 昭和59年3月 同 同 単位修得退学  
 昭和63年9月 教育学博士学位取得（東京大学）



## [学位論文]

[卒業論文] 『マレーシアに於ける複合教育システムの形成とその克服—国民統合の視点から』（昭和51年）（東京大学）  
 [修士論文] 『マラヤに於ける英国の植民地支配と教育政策—西洋近代教育の移入—』（昭和54年）（東京大学）  
 [博士論文] 『学習の伝統と学校制度—インドネシアのイスラム教育における学校制度の導入と位置づけに関する研究—』（昭和63年）（東京大学）

## [職 歴]

## (専任職)

昭和59年4月 東京大学教育学部助手  
 平成4年8月 国際協力事業団 JICA 専門家（東大助手は休職）（平成6年9月末まで）  
 （インドネシア共和国教育文化省高等教育総局に配属）  
 平成6年10月 東京大学教育学部助手に復職  
 平成7年4月 名古屋大学教育学部助教授  
 平成12年4月 名古屋大学大学院教育発達科学研究科教授（現在に至る）

## (非常勤職)

昭和54年4月 東海大学非常勤講師 「職業指導」担当（昭和57年3月まで）  
 昭和57年4月 東京外国語大学非常勤講師 「教育学」（昭和58年3月まで）  
 昭和61年4月 同 「道德教育の研究」（平成4年3月まで）  
 昭和62年4月 東洋大学非常勤講師 「比較教育」（平成4年3月まで）  
 平成3年4月 東京都立大学非常勤講師 「教育学特殊講義」（平成4年3月まで）  
 平成3年4月 大正大学非常勤講師 「世界宗教史各論（イスラーム教）」（平成4年3月まで）

## 西野節男教授 略歴・研究業績

### [学会活動]

昭和62年—63年 日本比較教育学会 幹事（編集委員会）  
平成5年—6年 同 幹事  
平成7年—12年 同 理事 紀要編集委員（—平成10年まで）  
平成13年—16年 同 事務局長（理事） 平塚賞運営委員会委員（—平成16年まで）  
平成17年—28年 同 常任理事  
平成20年—23年 同 紀要編集委員  
平成23年—25年 同 平塚賞運営委員会委員  
平成26年—28年 同 平塚賞運営委員会委員長

### [所属学会]

日本比較教育学会、日本国際教育学会、日本教育学会、日本中東学会

## 研究業績

### I. 著書、編著書

1. 『インドネシアのイスラム教育』勁草書房, 1990年2月(単著)
2. *Mengasuh Santriwati: Peranan Pesantren sebagai Penjaga Tradisi* (女子サントリを育てる: 伝統の守護者としてのプサントレンの役割), Lembaga Penelitian Kebudayaan Asia, Universitas Toyo, 2006(編著)
3. 『変貌するインドネシア・イスラーム教育』東洋大学アジア文化研究所・アジア地域研究センター, 2007年(服部美奈と共編著)
4. 『現代カンボジア教育の諸相』東洋大学アジア文化研究所・アジア地域研究センター, 2009年(編著)
5. 『東南アジア・マレー世界のイスラーム教育—マレーシアとインドネシアの比較—』東洋大学アジア文化研究所・アジア地域研究センター, 2010年(編著)  
*Pendidikan Islam di Dunia Melayu: Perbandingan Malaysia dan Indonesia*, Pusat Studi Asia, Lembaga Penelitian Kebudayaan Asia, Universitas Toyo, 2010(編著)(上記のインドネシア語・マレー語版, 5.と合冊)

### II. 著書分担執筆

1. 『講座 日本の学力 別巻2 世界と日本』日本標準, 1979年12月(「ぎりぎりに生きるための学力」執筆担当)
2. 『現代教育学入門』小澤周三他, 勁草書房, 1982年(「第八章 職業指導」執筆担当)  
『現代中国と華僑教育—新世紀に向かう東アジアの胎動—』西村俊一編, 多賀出版, 1991年2月(「インドネシア華僑と華僑教育」執筆担当)
3. 『諸外国の学校教育(アジア編)』文部省大臣官房調査統計企画課, 文部省, 1991年12月(「マレーシア」「インドネシア」執筆担当)
4. 『イスラームを学ぶ人のために』山内昌之・大塚和夫編, 世界思想社, 1993年(「イスラーム教育—インドネシアの場合」)
5. 『国際教育交流実務講座』第9巻, アルク, 1993年(「インドネシアの教育制度」)
6. 『世界の教育』宮澤康人編著, 放送大学教育振興会, 1993年(「国民統合と教育—東南アジア地域—」「宗教教育の伝統—イスラム世界—」)
7. 『講座イスラーム世界』第1巻, 板垣雄三監修, 片倉もとこ編, 栄光教育文化研究所, 1994年(「ムスリムはどう教育されるか—インドネシア」)
8. 『新訂 世界の教育』宮澤康人・小林雅之編著, 放送大学教育振興会, 1998年3月(「7. 発展途上国における国民統合と学校教育—東南アジア諸国を中心に」「11. 価値の教育と宗教—東南アジアのイスラーム教育を中心に」「13. 国民意識と国際理解の教育—東南アジア地域の場合」)
9. 『現代の高校教育改革—日本と諸外国—』新海英行他編, 大学教育出版, 1998年3月(「インドネシアの中等教育カリキュラム」)
10. 『岩波講座 開発と文化7 人類の未来と開発』川田順造他編, 岩波書店, 1998年4月(「開発と文化価値と教育—ポンドック・プサントレンの教育と学校制度をめぐって—」)
11. 『東南アジア諸国の国民統合と教育—多民族社会における葛藤—』村田翼夫編著, 東信堂, 2001年(「インドネシア—パンチャシラ教育の現実—」「イスラーム教育」)
12. 『世界の公教育と宗教』江原武一編著, 東信堂, 2003年(「インドネシアの公教育と宗教」)
13. 『アジア・オセアニアの高等教育』馬越徹編, 玉川大学出版部, 2004年(「インドネシア—市場化と国家統一維持の政治的課題」)
14. 『新しい教育の原理: 変動する時代の人間・社会・文化』今津孝次郎・馬越徹・早川操編, 名古屋大学出版会, 2005年(「新時代の宗教教育」)
15. 『アジア社会の発展と文化変容』東洋大学アジア文化研究所・アジア地域研究センター編, 東洋大学アジア文化研究所・アジア地域研究センター, 2010年(「第二章 東南アジア・マレー世界におけるイスラーム教

育の変容—国家教育制度強化の中のローカルな実態から—)

16. 【インドネシア検定】加納啓良監修, めこん, 2010年(「コラム プサントレンとマドラサ」[学校教育])
17. 【産業教育・職業教育ハンドブック】日本産業教育学会編, 大学教育出版, 2013年(「第8章 諸外国の職業教育・訓練 8-10 インドネシア」)
18. 【教育と学びの原理—変動する社会と向き合うために—】早川 操・伊藤彰浩編, 名古屋大学出版会, 2015年(「第14章 宗教教育の新しい姿—コンフリクトと共生と」)

### Ⅲ. 論文

1. 「英国のマラヤ植民地教育政策における基本的性格の形成」(論文紹介)【火曜研究会報告】第四号, 1978年8月
2. 「スルタン・イドリス・トレーニング・カレッジのカリキュラム」(論文紹介)【火曜研究会報告】第六号, 1980年7月
3. 「マレーシアにおける公民科教授—開発と人種問題をめぐって—」(論文紹介)【火曜研究会報告】第七号, 1982年7月
4. 「マレーシアの私立職業学校—生徒集団の性格と学校の役割について—」(論文紹介)【火曜研究会報告】第八号, 1983年7月
5. 「教育と政治戦略 —インドネシアにおける共産主義者の戦略と政府の対抗戦略について—」(論文紹介)【火曜研究会報告】第九号, 1984年5月
6. 「インドネシアのプサントレンの教育と村落開発」【アジア経済】第25巻第11号, 1984年11月
7. 「インドネシア社会の近代化と伝統的イスラム教育の対応 —ボンドック・ゴントルを例として—」【研究年報】(東洋大学アジア・アフリカ文化研究所)第19号, 1985年3月(西村誠と共著)
8. 「非西洋社会における教育変革の試み—シュクラによるインド教育の回顧—」(論文紹介)【火曜研究会報告】第十号, 1985年5月
9. 「インドネシアにおける伝統的イスラム教育の変容 I—プサントレン・クラピヤの事例—」【研究年報】(東洋大学アジア・アフリカ文化研究所)第20号, 1986年3月
10. 「教育に関する専門主義と政治—ナイジェリアの教育計画に関するアーウィックの議論」(論文紹介)【火曜研究会報告】第11号, 1986年6月
11. 「インドネシアにおける伝統的イスラム教育の変容 II—タレカットのプサントレン(スルヤラヤ)の事例—」【研究年報】(東洋大学アジア・アフリカ文化研究所)第21号, 1987年3月
12. 「インドネシアの伝統的な教師のイメージ」【日本比較教育学会紀要】第13号, 1987年3月
13. 「『自立のための教育』の現実—タンザニア中等教育改革の失敗に関するブライアン・クックシーによる考察—」(論文紹介)【火曜研究会報告】第12号, 1987年5月
14. 「小笠原の返還と島民教育の変化—「帰国」子女教育の一つの事例として—」【国際教育研究】(東京学芸大学海外子女教育センター)第8号 1988年3月
15. 「政治的根拠, 人間発達理論, 教育の実際の関係について—中国とイランにおける政治的变化と教育に関するマレー・トーマスの分析—」(論文紹介)【火曜研究会報告】第13号, 1988年7月
16. 「インドネシアの伝統的イスラム教育組織における制度化の特質—プサントレン・リルボヨの事例—」【研究年報】(東洋大学アジア・アフリカ文化研究所)第23号, 1989年3月
17. 「マレーシアの社会の変化と子どもの教育」【世界の児童と母性(海外福祉情報第26号)】資生堂社会福祉事業財団, 1989年4月
18. 「イランのイスラーム革命と教育」(論文紹介)【火曜研究会報告】第14号, 1989年6月
19. 「インドネシア教育における文化の問題—言語と宗教をめぐって—」【アジア文化】第14号, 1989年12月
20. 「世界の教室 イスラムの信仰と学習(インドネシア)」【授業づくりネットワーク】第19号, 1990年2月
21. 「インドネシアの大学」【会報】(大学基準協会)第66号, 1991年4月
22. 「インドネシアの学校制服規程改正—ジルバブ(イスラム教徒女性の特別服)の正式許可—」【火曜研究会報告】第16号, 1991年9月

23. 「インドネシアの言語教育」『文明のクロスロード Museum Kyushu』(博物館等建設推進九州会議) 第38号, 1991年9月
24. 「西スマトラのイスラーム教育(1) —スマトラ・タワリブ学校の事例—」『研究年報』(東洋大学アジア・アフリカ文化研究所) 第26号, 1992年3月
25. 「イスラームにおける聖戦・平和・教育」『教育学研究』第59巻第1号, 1992年3月
26. 「イスラーム教育と子どもたち—インドネシアの事例から—」『比較教育学研究』(日本比較教育学会) 19号, 1993年6月
27. 'Islamic Higher Education in Indonesia', "Higher Education Policy", Vol.6 No.2, 1993年 (Nakamura Mitsuo と共著)
28. 「海外の動き インドネシア 9年制義務教育の実現とへき地校」『教育と情報』第442号, 1995年1月
29. 「アジアに対する教育協力・援助」『教育と医学』第44巻第1号(511号), 1996年1月
30. 「教育からみた東南アジアのイスラーム」『中央評論』(中央大学) 第217号, 1996年10月
31. 「インドネシアの教師教育事情—9年制義務教育の実現と教育の質の改善を目指して—」『教師教育研究』第10号, 1997年5月
32. 「マレーシアにおける教育改革とイスラーム化政策—価値多元化への対応をめぐる—」『教育学研究』第64巻第3号, 1997年9月
33. 「インドネシアの近況—南カリマンタンを訪ねて—」『名古屋港』(名古屋市港利用促進協議会) 第16巻第3号, 1997年11月
34. 「東南アジアにおけるイスラーム教育改革の動向—インドネシアとマレーシアの事例から—」『アジア研ワールドトレンド』第38号, 1998年9月
35. 「イスラーム諸国におけるイスラーム教育」『イスラーム世界』第53号, 1999年7月(「インドネシアのイスラーム教育」94-98頁および討論・質疑応答103-116頁)
36. 「変貌するアジアの大学 インドネシア編 進む統一的基準による大学評価」『カレッジマネージメント』104号, 2000年9月
37. 「『イスラーム文化圏』の教育研究」『比較教育学研究』27, 2001年6月
38. 「インドネシアの高等教育事情」『文部科学教育通信』(ジアース教育新社) 第45号, 2002年2月
39. 「バウエアン島への旅—プサントレンとワリソンゴ伝承をめぐる—」『研究年報』(東洋大学アジア文化研究所) 2005年, 第40号, 2006年
40. 「キヤイ・アリ・マッスムのプサントレンの旅—ラセム, パチタン, ジョグジャカルター—」『研究年報』(東洋大学アジア文化研究所) 2005年, 第40号, 2006年
41. 「イマム・ザルカシの学問の旅とポンドック・ゴントルの改革をめぐる」『学術フロンティア報告書2005年度』, 2006年
42. "Tradisi Masyarakat dan Pendidikan Islam di Kudus, Jawa Tengah (中部ジャワ州クドゥスの地域社会とイスラーム教育)" 『学術フロンティア報告書2005年度』, 2006年 (Fatah Syukur との共著論文)
43. "Purniman Islam melalui Popularisasi dan Aktivisasi Pengajian: Studi Kasus Pondok Pesantren Burengan Kediri, Jawa Timur (宗教学習の大衆化と活性化によるイスラームの純化—東部ジャワ州クディリのポンドック・プサントレン・ブレガンの事例—)" 『学術フロンティア報告書2005年度』, 2006年 (Singgi Tri Sulistiyono との共著論文)
44. 「インドネシアにおける IAIN (国立イスラーム宗教大学) の発展とポンドック・プサントレン改革—中部ジャワの地域的性格の観点から—」『学術フロンティア報告書2007年度』東洋大学アジア地域研究センター, 2008年
45. 「カンボジアにおけるイスラーム教育の諸相—外国人学校・国際学校の視点から—」『学術フロンティア報告書2007年度』東洋大学アジア地域研究センター, 2008年
46. 「二元的な制度の統合に向け動き—インドネシア教育の現状と課題」『内外教育』(時事通信社) 5856号, 2008年
47. 「国際教育開発と比較教育学研究の可能性—映画『ラスカル・ブランギ』によせて—」『比較教育学研究』

第42号, 2011年

48. 「マレーシア（クランタン州）におけるイスラーム教育の発展に関する一考察」『名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要（教育科学）』第58巻第2号（2011年度）、2012年（小林忠資、服部美奈と共著）
49. 「インドネシア（印尼）教育における文化の問題—言語と宗教をめぐって」『客家與多元文化（Hakka and Multiculture）第八期』（亞洲文化総合研究所出版会）、2013年9月
50. 「現代インドネシアにおけるイスラーム指導者養成の課題：西ジャワのプサントレンの事例から」『名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要（教育科学）』第60巻第2号、2013年（服部美奈と共著）
51. 「グローバル化する世界における教育と宗教者の役割—シンポジウムでの議論をふまえて—（特集2 公開シンポジウム グローバル化する世界における教育と宗教者の役割）」『比較教育学研究』第50号、2015年（服部美奈と共著）
52. 「イスラーム世界との共生」『環境と健康』第29巻4号、2016年
53. 「トルコにおける宗教指導者養成—政府による取り組みと「ヒズメット（奉仕）運動」の展開—」『名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要（教育科学）』第64巻第1号、2017年9月（服部美奈と共著）

#### IV 報告書類（科研、調査報告など）

編著 分担執筆 訳本 発行所 発行年 備考

1. 「第2章 マレーシアにおける現職教育」科研報告書（村田翼夫代表）『東南アジア諸国における教員の現職教育』、1982年3月（分担執筆（共著））
2. 「第七章 インドネシアの国民統一と宗教・道徳教育」筑波大学比較教育研究室、『第三世界における国民統一と宗教・道徳教育』、筑波大学比較教育研究室、1987年（分担執筆）
3. 「II 国別各論 1. インドネシア」『アジア・太平洋諸国における人造り協力のあり方に関する研究』、国際協力事業団国際協力総合研、1989年（分担執筆）
4. 「第2章インドネシアにおける教育と言語・宗教の問題」『東南アジア諸国における多文化と国民教育』（科研中間報告書、代表村田翼夫）、1990年3月（分担執筆）
5. 「インドネシアの言語教育」『東南アジア諸国における多言語社会と教授用語—国民統合政策との関連を中心として—』（科研最終報告書、代表村田翼夫）、1991年3月
6. 「インドネシア：教育—コメント」中村光男・早瀬晋三編『東南アジアのイスラーム—教育、農村、海洋民—』、鹿児島大学南太平洋海域研究センター、1991年
7. 「インドネシア共和国セクター別基礎資料—教育分野編—」国際協力事業団インドネシア事務所、1994年（共編著）
8. 「インドネシア・マレーシアの学校制度とイスラーム教育—教育改革と経済発展をめぐって—」『インドネシア・マレーシアにおける経済発展とイスラーム教育に関する調査研究』アジア社会問題研究所、1997年3月
9. 「インドネシア・マレーシアにおけるムスリム・アイデンティティと中東地域との人的・経済的関係に関する調査研究」アジア社会問題研究所、1998年3月（分担草案担当）
10. 「マレーシア」科学研究費補助金（国際学術研究）『アジア地域の中等教育の内容と評価法に関する調査研究』（代表：馬越徹）研究成果報告書、1999年3月
11. 「日本留学経験と日本の教育の特質に関する認識について—インドネシアの日本留学帰国者に対する聞き取りから—」科学研究費補助金（基盤研究（B）（1））『アジア諸国に対する日本の教育の影響に関する実証的比較研究—教育協力・援助の影響を中心として—』（代表：村田翼夫）中間報告書、1999年3月
12. 「東南アジアのイスラーム復興運動が教育制度改革に及ぼす影響に関する比較研究」科学研究費補助金（基盤研究（C））（代表：西野節男）研究成果報告書、1999年3月
13. 「東アジア・東南アジアにおける異文化接触と文化変容（カンボジア・イスラーム教育調査報告）」『研究年報』2004年（第39号）、東洋大学アジア文化研究所、2005年2月
14. 「台湾澎湖島教育調査」『研究年報』2004年（第39号）、東洋大学アジア文化研究所、2005年
15. 「マレーシア・インドネシアにおけるイスラーム教育および高等教育関係調査」東洋大学アジア地域研究センター『学術フロンティア報告書2004年度』、東洋大学アジア地域研究センター、2005年

16. 「インドネシアおよびミャンマー調査」『研究年報』（東洋大学アジア文化研究所）2005年第40号，東洋大学アジア文化研究所，2005年
17. 「トルコ実業家の協会組織によるトルコ・モデル国際学校の世界展開—インドネシア，カンボジア，日本—」科研報告書「多文化化する社会における外国人学校の位置取りのポリティクスに関する国際比較研究」（代表 服部美奈），2008年
18. 「マレーシアにおける外国人学校と国際学校：歴史的変遷，現状と政策」科研報告書「多文化化する社会における外国人学校の位置取りのポリティクスに関する国際比較研究」（代表 服部美奈），2008年（小林忠資と共著）

## V その他（随筆，翻訳，書評，事典項目など）

（随筆，追悼他）

1. 「山内先生との思い出」『招堤の灯—惜別 山内太郎先生』，2002年3月
2. 「プサントレン研究とイスラーム歳時記」『Frontier ニュースレター』第4号（2006年1月20日発行），東洋大学アジア文化研究所，2006年
3. 「心やさしき西村さん」『追悼 西村重夫 Langit Tanah Airku』，2010年11月
4. 「下沢先生との思い出—ワメナ（イリアン）への旅—」『追悼記念誌 生涯変わらなかった情熱 下沢隆先生の研究生活と教育活動』，2017年9月

（翻訳）

3. 大正大学世界の宗教教科書プロジェクト『世界の宗教教科書』大正大学，2008年（インドネシア宗教教科書の翻訳担当 中田有紀と共同）

（書評，図書紹介）

4. 「書評 竹熊尚夫著『マレーシアの民族教育制度研究』」『比較教育学研究』25号，1999年
5. 「書評と紹介 桜井啓子著『革命イランの教科書メディア—イスラームとナショナリズムの相克』」『イスラーム世界』第55号 2000年9月
6. 「図書紹介 江原裕美編『内発的發展と教育：人間主体の社会変革と NGO の地平』新評論，2003年」『教育学研究』72巻2号，2005年
7. 「書評 鴨川明子著『マレーシア青年期女性の進路形成』」『教育学研究』76巻4号，2009年12月
8. 「図書紹介 山田肖子・森下稔編著『比較教育学の地平を開く』」『教育学研究』80巻4号，2013年12月
9. 「書評 久志本裕子著『変容するイスラームの学びの文化—マレーシア・ムスリム社会と近代学校教育—』」『比較教育学研究』51号，2015年（事典・辞典項目）
10. 『教育課程事典 総論編』岡津守彦監修，小学館，1983年12月（「マレーシアの教育課程」「国際機関の教育課程研究（1）主要機関とその活動（ユネスコ，OECD，SEAMEO）」）
11. 『現代子ども大百科』平山宗宏他編，中央法規出版，1988年3月（「東南アジアの子ども」）
12. 『国際教育事典』松崎巖監修，アルク，1991年1月（「イスラーム教育」「インドネシアの教育」「カルティニ」「二重社会論」「プディ・ウトモ」「ポンドック・プサントレン」）
13. 『インドネシアの事典』石井米雄監修，同朋舎，1991年6月（「イキップ」「イスラーム暦」「イバーダ」「コーラン」「ゴントル塾」「ザカット」「ナビ」「ポンドック」「マドゥラサ」「ラマダン」）
14. 『現代学校教育大事典』ぎょうせい，1993年（「インドネシアの教育」）
15. 『イスラーム世界事典』片倉もとこ編集代表，明石書店，2002年3月（「教育」「グル」「サントリ」「プサントレン」）
16. 『比較教育学事典』日本比較教育学会編，東信堂，2012年6月（「IAIN（国立イスラーム宗教大学）」「IKIP（教育大学）」「原理主義」「巡礼」「イスラームと教育」）

（海外での発表—国際学会他）

NISHINO Setsuo,

"A Glimpse of Islamic Education in Cambodia: Between Regional Culture and Global Concern", presented at

西野節男教授 略歴・研究業績

Seminar International "Perubahan Budaya dan Pendidikan dalam Asia Modern (Cultural Change and Education in Modern Asia), 22 November, 2005, Kampus UNDIP Tembalang, Indonesia.

"Kontribusi Pondok Pesantren terhadap Sistem Pendidikan Islam di Indonesia: Dua Candekiawan Muslim di Jawa", presented at International Seminar Toyo University and Diponegoro University (5-6 August 2009), Workshop (3) Afternoon, 6 August 2009 "Islamic Education Development in Malay World", Venue: Pasca Sarjana Building Diponegoro University, Indonesia.

"Function of Islamic Higher Education toward Multi-cultural society: Comparative Analysis of Indonesia, Malaysia, United Kingdom, and Netherlands", presented with Prof. Hattori Mina at (Thematic Group 2 - "Comparative Education: Rethinking Theory and Method"), 14th World Congress of Comparative Education Society (WCCES), Istanbul, Turkey, 14 June 2010.

"Education in Small Islands and Coastal Areas: Focus on Mie and Aichi Prefecture (I)", presented with Prof. Hattori Mina (II) at International Seminar on Maritime Culture "Strengthening Local Wisdom and Education for Community Development in Coastal Areas and Small Islands", Diponegoro University, 18 Dec 2015.